

天皇杯・皇后杯 2026 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 実施要項

（※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください）

- (1) 名称 天皇杯・皇后杯 2026 年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 (2) 期 日 2026 年 1 月 20 日(火)～25 日(日)
 (3) 会 場 東京体育館
 JR 中央・総武線「千駄ヶ谷」駅、都営大江戸線「国立競技場」駅から徒歩 1 分
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL:03-6380-4832
 (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
 (5) 主 管 一般社団法人東京都卓球連盟
 (6) 協 賛
 (7) 用具協賛 株式会社三英（卓球台、スポーツフロア）、株式会社 VICTAS（ボール）
 (8) スポーツ振興助成
 (9) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③ジュニア男子シングルス ④ジュニア女子シングルス
 (10) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
 男女シングルスの第 1 ステージは 11 ポイント 5 ゲームマッチ、第 2 ステージ（ベスト 32 決定戦以降）
 は 11 ポイント 7 ゲームマッチで行う。ジュニア男女シングルスはすべて 11 ポイント 5 ゲームマッチ
 で行う。
 (11) 競技日程 別途連絡する。
 (12) 参加人員 下記表のとおり

表 1

都道府県名	男子シングルス	女子シングルス
東京（主管地）	10	10
愛知	9	9
北海道	7	7
埼玉、静岡、福岡	6	6
神奈川、大阪、兵庫	5	5
千葉、京都	4	4
山形、茨城、栃木、新潟、長野、岡山、広島、山口、長崎、鹿児島	3	3
その他の県	2	2

表 2

都道府県名	ジュニア男子	ジュニア女子
東京（主管地）、千葉、神奈川	8	8
埼玉、静岡、愛知、兵庫	7	7
北海道	6	6
茨城、大阪、福岡	5	5
宮城、福島、栃木、新潟	4	4
群馬、長野、岐阜、京都、岡山、広島、山口、愛媛	3	3
その他の県	2	2

表 3 ブロック推薦数（男女シングルスまたはジュニア男女いずれか 1 種目）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

(13) 参加資格

- ① 参加者は 2025 年度（公財）日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程（注 1 参照）に定められた有段者であること。
- ② 男女シングルス、ジュニア男女に出場する選手は日本国籍を有する者とする。ただし、ジュニア男女は下記の各号の 1 つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 (イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き 3 年以上日本に住所または居所を有する者。
 (ロ) 日本で生まれたもので引き続き 3 年以上、日本に住所または居所を有する者。
 またはその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
 (ハ) 引き続き 10 年以上日本に居所を有する者。
 (ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から 3 年を経過し、かつ引き続き 1 年以上日本に住所を有する者。
- ③ 各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
- ④ 日本学生卓球連盟にも登録している者は、種目毎に大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の 2 ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。卒業高等学校所在地より出場を希望

する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ返信用封筒（宛名を記入、切手を貼付）を添えて提出する。登録加盟団体は確認し捺印後申請者へ返却する。申請者は再度それを卒業高等学校所在地加盟団体長宛に提出をする。申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、承認した場合はすみやかに申請加盟団体に申請用紙を FAX すること。選手が本大会に出場決定した場合のみ、予選会出場した加盟団体より（公財）日本卓球協会事務局へ本用紙（コピー可）を提出すること。

- ⑤ ジュニアは、2008年（平成20年）4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
- ⑥ 同一人物における同一種目の予選会出場は1ヶ所限りとする。
※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
- ⑦ 無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	2025年全日本選手権	男女シングルス各ベスト16位まで・・・一般に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生 ……一般に
2		2025年全日本社会人選手権	男女シングルス各8位まで・・・一般に
3		2024年全日本選手権(カデット)	14歳(中学2年)以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳(中学1年)以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
4		2025年全国中学校大会	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
5	日本リーグ	*2025年の日本リーグ	男女シングルス各8名・・・一般に
6	日学連	*2025年の全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで・・・一般に
7	高体連	*2025年の全国高校選手権	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに (ただし、最大各16名まで)
8	日本知的 日本肢体 日本ろうあ	*各団体より推薦	男女シングルス各1名（3加盟団体とも）・・・一般に

1) 推薦出場のすべての選手は、推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
2) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。また、強化本部の要請などにより（公財）日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。
3) 各都道府県卓球協会（連盟）は、申し込みの際、備考欄に推薦理由を明示すること。

(14) 競技ルール

- ① 現行の日本卓球ルールによる。
- ② 一般シングルス種目の上位16シードはフリー抽選とするが、組合せ全体を通して所属チームに関する均等配分を優先する原則と都道府県の均等配分の原則が適用される。ただし、ジュニア種目の上位8シードはフリー抽選とせず所属チームおよび都道府県の均等配分を考慮し抽選を行う。
- ③ 一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト32決定戦よりスーパーシードとして出場する。ただし、推薦選手数がスーパーシード枠数を超える場合は組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
- ④ 一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
- ⑤ テーブルはグリーンもしくはブルーを使用する。
- ⑥ 使用球は、株式会社 VICTAS の「VP 40+ スリースター」のみを使用する。
- ⑦ ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
- ⑧ 同じユニフォームによる対戦を避けるため、色の異なるユニフォームを2種類以上持参すること。
- ⑨ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- ⑩ 全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
- ⑪ フロアマットを使用することがある。
- ⑫ 競技領域は、正規の広さより狭まる場合がある。

(15) 参加料 シングルス 1名 3,000円

(16) 申込方法

- ① 大会申込システムを使用して申し込むこと。
なお、主管地へは本会とりまとめの申込データを締切日翌日にメールで送付する。
参加料は、加盟団体より現金書留または振込にて（公財）日本卓球協会宛に送金すること。
【現金書留】〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square（公財）日本卓球協会 宛
TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931
【振込】みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会
- ② 推薦出場の手も含めすべての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。
- ③ 卒業高等学校所在地から予選会を経て出場権を獲得した場合はその都道府県から申し込み、推薦で出場する選手は必ず現在登録している都道府県より申し込みをすること。
- ④ 重複、欠落がないよう注意すること。

(17) 申込締切

2025年11月25日(火)必着のこと。
申込締切日以降は大会申込システムにアクセスできない。締切期日を厳守すること。

(18) 宿泊

各自でご手配ください。

(19) その他

- ① 一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は認めない。
- ② やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地および本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
- ③ 大会参加中、万一事故のあった場合は本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参してください。けが等をした場合には可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認ください。

- ⑥1. 本競技大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。
親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/ui8.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でもドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

① (2024年度) 2025年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	松島 輝空	(神奈川)	木下グループ	1	早田 ひな	(福岡)	日本生命
2	篠塚 大登	(愛知)	愛知工業大	2	張本 美和	(神奈川)	木下グループ
3	張本 智和	(宮城)	智和企画	3	大藤 沙月	(大阪)	ミキハウス
4	谷垣 佑真	(愛知)	愛知工業大	4	伊藤 美誠	(大阪)	スターツ
5	宇田 幸矢	(東京)	協和キリン	5	平野 美宇	(神奈川)	木下グループ
6	曾根 翔	(埼玉)	T. T彩たま	6	山崎 唯愛	(東京)	サンリツ
7	岡野 俊介	(岐阜)	朝日大	7	井 絢乃	(広島)	中国電力ライシス
8	田中 佑汰	(佐賀)	個人	8	芝田 沙季	(大阪)	ミキハウス
9	松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスピッズ	9	横井 咲桜	(大阪)	ミキハウス
10	村松 雄斗	(鹿児島)	霧島整形外科病院	10	木原 美悠	(神奈川)	木下グループ
11	濱田 一輝	(東京)	早稲田大	11	牛嶋 星羅	(東京)	サンリツ
12	吉村 真晴	(東京)	SCOグループ	12	長崎 美柚	(神奈川)	木下グループ
13	神 巧也	(千葉)	ファースト	13	三村 優果	(東京)	サンリツ
14	有延 大夢	(佐賀)	T. T彩たま	14	田村 美佳	(岐阜)	十六フィナンシャルグループ
15	龍崎 東寅	(東京)	ケアリッツ・テクノロジーズ	15	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
16	松平 賢二	(東京)	協和キリン	16	安藤みなみ	(愛知)	トップおとめピンポンズ名古屋
ジュニア男子				ジュニア女子			
1	吉山 和希	(埼玉)	岡山リベッツ	1	張本 美和	(神奈川)	木下グループ
2	川上 流星	(神奈川)	木下アカデミー	2	面手 凜	(岡山)	山陽学園高
3	岩井田駿斗	(山口)	野田学園中	3	山室 早矢	(愛知)	桜丘高
4	谷本 拓海	(兵庫)	育英高	4	小塩 悠菜	(東京)	JOCエリートアカデミー/星槎
5	岡本 翼	(神奈川)	木下アカデミー	5	高森 愛央	(大阪)	四天王寺高
6	岸本 漣斗	(岡山)	関西高	6	渡邊 心葉	(高知)	明德義塾中・高
7	吉田 蒼	(新潟)	直江津東中	7	松島 美空	(京都)	京都カグヤライズ
8	北村 悠貴	(三重)	白子高	8	青木 咲智	(大阪)	四天王寺高

② (2025年) 第59回全日本社会人卓球選手権大会からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

③ 2024年全日本卓球選手権大会(カデット14歳以下の部)からの推薦(申込は都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス			14歳以下女子シングルス				
1	平塚 健友	(石川)	遊学館ジュニア	1	高橋 青葉	(神奈川)	木下アカデミー
2	立川 凜	(愛知)	愛工大名電中	2	伊藤 友杏	(大阪)	貝塚第二中
3	岡田 蒼空	(兵庫)	OKATAKU	3	石田 心美	(福岡)	石田卓球N+
4	柳本進太郎	(高知)	明德義塾中	4	花沢 夏琳	(神奈川)	星槎中
5	浅里 巧真	(愛知)	愛工大名電中	5	面手 一花	(岡山)	山陽学園中
6	伊藤虎大朗	(石川)	遊学館ジュニア	6	高田 真帆	(熊本)	ヒゴ鏡卓球クラブ
7	松山 侑聖	(山口)	野田学園中	7	香川さくら子	(大阪)	貝塚第二中
8	中谷 柊斗	(静岡)	浜松修学舎中	8	坂田 夏美	(広島)	ヒロタクススポーツ

④ (2025年) 第56回全国中学校卓球大会からの推薦(申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	〇	1	〇
2	〇	2	〇
3	〇	3	〇
4	〇	4	〇
5	〇	5	〇
6	〇	6	〇
7	〇	7	〇
8	〇	8	〇

⑤2025年の日本リーグ実業団連盟からの推薦（申込は都道府県卓から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑥（2025年）第91回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）からの推薦（申込は都道府県卓から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑦（2025年）第94回全国高等学校選手権大会からの推薦（申込は都道府県卓から）

（注） J：ジュニアに推薦 ★：一般・ジュニアともに推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
1	0	1	0
2	0	2	0
3	0	3	0
4	0	4	0
5	0	5	0
6	0	6	0
7	0	7	0
8	0	8	0
9	0	9	0
10	0	10	0
11	0	11	0
12	0	12	0
13	0	13	0
14	0	14	0
15	0	15	0
16	0	16	0
ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）		ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）	
Jベ	0	Jベ	0
Jス	0	Jス	0
Jト	0	Jト	0
J32	0	J32	0
J	0	J	0
J	0	J	0
J	0	J	0
J	0	J	0

⑧2025年の3加盟団体からの推薦（申込は都道府県卓から）

男子シングルス	女子シングルス
一般社団法人 日本知的障がい者卓球連盟	
()	()
一般社団法人 日本肢体不自由者卓球協会	
()	()
一般社団法人 日本ろうあ者卓球協会	
()	()

注1) 段級制規程要約（出場回数）

段位取得について（2023年3月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく）

- ①全日本選手権大会（一般・ジュニア部） ②全日本選手権大会（ダブルスの部） ③全日本選手権大会（団体の部）
 ④全日本選手権大会（マスターズの部） ⑤全日本社会人選手権大会 ⑥全日本実業団選手権大会
 上記6大会に出場する者は、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。